

いしだたみ

No. 142

2003年9月

子どもたちに読書の楽しさ・すばらしさを



松居 直氏の講演会に感動!!



おはなしや人形劇に夢中の子どもたち

4月23日の「子ども読書の日」を記念して、同26日に「ながさきおはなしフェスティバル」を開催しました。

児童文学家の松居 直氏の講演会や、県内のボランティアの方々による絵本の読み聞かせ・人形劇などを行い、親子連れを中心とした900名を超す参加者で会場は熱気に包まれました。

教育委員会は目下「子ども読書活動推進会議」において、子どもの読書環境の整備・充実へ向けた取り組みをすすめています。

- 子どもの読書活動推進への取り組み
- 2階展示スペースを利用してみませんか
- 吉村 昭「歴史小説の世界」企画展のご案内
- 子どもの読書活動で文部科学大臣表彰
- 市町村図書館紹介
- 平成15年度（9月～12月）行事予定

子どもの読書活動推進に関する本館の取り組み

■平成13年度に、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、県内でも子どもたちを取り巻く読書環境の整備が積極的に進められています。今回は、県立長崎図書館における子どもの読書活動推進に関する取り組みをご紹介します。

◎「子ども読書の日」記念事業

4月23日の「子ども読書の日」を記念した事業を実施し、子どもの読書活動について広く关心と理解を深めてもらうとともに、多くのボランティアの皆様の協力を得ながら子どもの読書活動を推進します。(本年4月には、「ながさきおはなしフェスティバル」を実施)

◎図書館蔵書（児童書）の充実、こども室利用の促進

児童書の収集にも力を入れており、年間に出版される児童書の約8割程度を購入しています。これは全国的にも高い水準といえます。また、昨年の児童書の貸出冊数は、93,420冊で、蔵書数に対する利用率は134%にもなります。これは本館の貸出総数541,486冊の17%にあたります。

◎読み聞かせ・こども大会

幼稚・小学校低学年を対象に、毎週土曜日の午後3時から絵本の読み聞かせ・紙芝居などを実施しています。また、毎年開催しているこども大会では、人形劇や紙芝居を通じて、読書の楽しみを伝えています。(昨年度の参加者110名) 本年度は12月20日(土)に当館で開催予定です。

◎各階展示コーナーを中心に、絵本や児童書の展示を行っています。

◎中・高生の職場体験学習や総合学習などの受け入れを行っています。

(昨年度の受入状況)

- ・調べ学習・見学など
- 県内小学校 9校 205人
- 〃 中学校 18校 478人
- 〃 高校 1校 18人
- 県外中学校 2校 46人
- ・職場体験学習
- 県内中学校 5校 17人



読み聞かせ

◎市町村図書館や教育委員会の職員を対象に、児童サービスに関する研修会を実施しています。

ミニ統計

県内市町村図書館及び公民館図書室における一人当たりの県平均数値 —5年前との比—



(県立長崎図書館「図書館・公民館図書室調査」より)

学校の企画展に2階スペースを利用してみませんか

■県立図書館では、2階オープンスペース、2・3階の階段室展示棚などで本館の所蔵する資料を中心とした様々な企画・展示展を開催しておりますが、県内各学校文化部の小作品展の場としても利用していただければと考えています。本館は毎日多くの方が来館されますので、生徒たちの日々の活動の成果を広く県民の皆様にご紹介できることと思います。ご利用の際はお気軽にご相談ください。

この夏は、県内の高校から貴重な鉢植えや学校新聞を提供していただき、2階スペースに展示しましたところ、本館を訪れる多くの利用者が目をとめられ大変好評でした。そこで今回、その展示の一部を紹介したいと思います。

◎諫早農業高校の生徒さんが育てられた鉢植え「源平木」や、大村城南高校からいただいた珍しい「オウゴンオニユリ」を展示しました。閲覧室への階段を上る利用者の方がたも思わず足を止めて、美しい花々を鑑賞されておられたようです。

◎西陵高校をはじめとする第14回学校新聞コンクール入賞校より、学校新聞をご寄贈いただき展示コーナーを設けました。この展示を通して、各学校の様々な情報や、県内高校生の今を広く県民の皆様にご紹介することができたのではないかと思います。

◎7月28日から県内で、「全国高等学校総合体育大会—長崎ゆめ総体—」が開催されました。本館ではその開催にあわせて、“長崎ゆめ総体長崎県代表試合結果速報コーナー”を設置し、本県選手の熱い活躍ぶりを利用者の方々へお伝えしました。



諫早農業高校提供「源平木」

第14回学校新聞コンクール入賞校の展示



◎10月11日(土)からは、県下全高等学校の進路資料コーナーを設置いたします。

学校紹介パンフレットなどをはじめとする中学生向けの広報資料がご覧になれます。

企画展のご案内

吉村 昭 「歴史小説の世界 一史実を歩くー」

作家吉村 昭氏は、名作『戦艦武蔵』をはじめ、『ふおん・しいほるとの娘』『海の祭礼』『黒船』など長崎を舞台にした小説を多数発表され、そこに流れる一貫した創作姿勢は、読者を魅了してやまないものがあります。

このたび、吉村 昭先生と長崎との深いかかわりを広く県民に紹介するため、同氏の作品と関連ある史料や愛用の品、写真などを展示とともに、今回特別に門外不出であった「戦艦武蔵建造日誌」を三菱重工株式会社長崎造船所のご配慮により史料館以外で初めて公開するなど、全国でも本館だけでしか見られない「吉村 昭氏と長崎」に関する史料約150点を展示いたします。

〔期　　日〕 平成15年9月14日(日)～28日(日)
〔場　　所〕 本館2階オープンスペース 入場無料
〔展示時間〕 9時30分～17時
(9月14日は11時40分から開催)
なお、毎月曜日・祝日は休館ですが、企画展は開催します。

〔展示史料〕

①吉村氏提供史料及び写真

愛用の万年筆、書斎・学生時代の写真、夫妻写真
書きおろし原稿、「戦艦武蔵取材ノート」、
「長崎奉行任命書」ほか



ニコライ博士の写真

②三菱重工業株式会社長崎造船所 史料館提供

「戦艦武蔵建造日誌」「戦艦武蔵関係写真」ほか

③著者との関連史料

「シーポルト肖像」「シーポルト国外追放達書」
「長崎奉行所犯科帳 シーポルト事件」「日蘭条約書」「解体新書」ほか

④関連写真

「ニコライ殿下肖像写真」「最後の商館長ドンケルクルチウス写真」
「長崎古写真」ほか

お知らせコーナー

ボランティア募集のお知らせ

県立図書館では、閲覧室の書架の整理・こども室での読み聞かせをしていただくボランティアの方を募集しています。

興味のある方はお気軽にお尋ねください。

総務課 Tel.095-826-5257

深江町からのお知らせ

深江町ふるさと伝承館図書室が今年の6月に新しくオープンしました。
ご利用お待ちしています。
(開館時の蔵書22,500冊)

Tel. 0957-72-3380

子どもの読書活動で文部科学大臣表彰

■平成15年度子ども読書活動優秀実践図書館・団体（者）として、文部科学大臣表彰を受けられた『香焼町立図書館』と『いきのしま おやこ文庫』をご紹介します。

「子ども」はこわい？

—香焼図書館 児童サービスの歴史—

当図書館サービスの柱は、時代に要求されるものは別として、基本的に『市民の図書館』（日本図書館協会発行）にある、①貸出重視、②児童サービス、③全域旅游サービスである。よって「児童サービスの充実」を図書館側からの掛け声だけでなく、子どもたち側からの「本はおもしろい！」という自然発生的な肉声として聞けるようになったら、



香焼町立図書館

いきのしま おやこ文庫

(壱岐・郷ノ浦町)

玄界灘の壱岐の島。
海からきた風もみどりに染まります。
昭和60年9月7日、幼稚園のおゆうぎ室の片す
みにござを敷いて、「いきのしま・おやこ文庫」号
は船出しました。

今は、郷ノ浦町立図書館の1階に寄港しています。毎月第3土曜日の午後、絵本の読み聞かせや紙しばい、工作、季節行事（手作り）など、みんなでいっしょに楽しんでいます。

時には、散歩がてら、青空文庫になったり、新しい試みの「こども文庫」をひらいたりしています。

年に一回、町内の小学校への移動文庫も、十年
目を迎えてます。図書館の文庫へ羽を休ませて
くれる子どもたちも、小学校の体育館でひと時、

というのが職員の永年の希望である。

この約20年、職員の絵本の勉強からはじまり、児童書の並べ方、「おはなし会」を中心とした行事の開催、「香焼の昔ばなし」発行、小・中学校図書室との連携、保育所への出前貸出、ブックスタート事業開始と悲喜こもごも、走ったり、後退したりしながら何とかやってきた。なかでも、前の日は、「眠れない」か「眠りが浅い」

児童サービスの一つに小学校への「ブックトーク」事業がある。これは各学年ごとに「テーマ」を定め、テーマに関する本を紹介する事業である。図書の選定、テーマへの掘り下げ、話術、そしてこれが一番難しいのが、「本」は強制ではなく、楽しみだと子どもたちに思ってもらうことなどがポイントである。今なおトークしている最中の「顔」は笑っているが、背中には冷や汗が流れているのである。

今回の受賞は、子どもたちからの「チャンと子どもと、子どもの本に向き合えよ！」という励ましの言葉だと思っている。（主任 坂井 淳）

心あそばせてくれる子どもたちも、本と友達でいてほしいと願っています。

壱岐の島は、平成16年の3月から壱岐市になります。ハンディキャップの有無にかかわらず、子どもから高齢の方まで、誰でも利用できる市立図書館の誕生が望まれています。

潮風のなか灯し続けた小さな文庫のあかり。子どもたちもお母さんも、いつまでも見守っていてください。島の文庫灯台よ！



「子ども文庫」

（代表 濱 裕子）

長与町は、年々人口が増加し、現在4万2千人を超え、シーボルト大学の開校、町民文化ホールのオープンなど「文化の町・長与」として、大きく発展しております。その中で、長与町図書館も「暮らしを豊かにする」という大きな役割を担って、町民に身近な図書館として親しまれるようにと努力を続けております。

長与町図書館は、昭和59年7月自動車文庫「ほほえみ号」の町内巡回でスタートしました。当時は、全町24のステーションを月一回巡回していました。それから5年後の平成元年4月、旧役場庁舎を改装し、現在の長与町図書館が開館されました。場所は、町民にとって便利な長与町の中心部に位置しております。建物は、1、2階が図書館で、3階が健康センターの複合施設です。現在の蔵書数は、視聴覚資料も含めて6万5百点で、町民一人当たり蔵書数は、1.43ということになります。登録者は、町民の約半数に当たる2万1千9百人で、登録率は、52%に達しました。町民の資料についてのリクエストも多く、平成14年度は7千件を超え、町民の



読書に対する関心の強さを感じております。

利用者は、特に幼児や小学生を持つお母さんの方の活用も活発であり、加えて、高齢者の方々の読書意欲と研究熱心さには、頭が下がる思いであります。

また、全町民へのPRも図書館の大きな仕事として、毎月、広報「ながよ」に図書館通信として、多くの情報提供をしております。



しかし、長与町図書館は、14年前に旧役場の建物を改装して開館したため、現在の4万2千人を超す町の図書館としては、手狭で増加する資料の収容スペースに苦慮しております。到底住民の要求や期待、多様なニーズには応えきれない状況にあります。そのような環境の中で、昨年「長与町の新しい図書館を想う会」が誕生し、活発な活動が続けられているところです。

昨今、図書館への思い、要望、期待はますます高くなっています。町の施策あります「地域づくり、人づくり」の情報発信源として、町民の暮らしに役立つ愛される図書館を目指し、館員一同励んでまいります。

平成15年度行事案内（9月～12月）

- | | |
|-------------------------|--|
| 9月 吉村昭氏講演会（14日 本館） | 11月 県読書グループ連絡協議会史跡見学
（14日 島原市・南高来郡） |
| 県立図書館協議会（19日 長崎市） | |
| 10月 県図書館活動推進大会（20日 松浦市） | 12月 こども大会（20日 本館） |
| 郷土資料収集会議（31日 本館） | |

★休館のお知らせ

県立長崎図書館は、9月29日(月)から、10月10日(金)まで、蔵書点検等のため休館いたします。期間中は電算システムの更新作業に伴い、ホームページ（蔵書検索）も停止いたします。

ご利用の皆様には期間中ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。